

平成27年度 事業計画書
公益社団法人 化学工学会

平成27年度重点施策
～Vision2023 フェーズ1からフェーズ2へ向かって：
革新、強化した学会機能の定着と会員への還元を目指して～

1. 産学連携を強みとする学会の特質強化
 - ① 本部大会改革推進による活性化
 - ② 人材育成プログラムの継続的展開と社会的認知度の向上
 - ③ シニアエンジニアの知識の集大成化による若手世代への知恵の伝承
 - ④ 部会での産学連携強化
 - ⑤ 中堅企業による業界出口ベースの産学連携活動の検討
2. 化学工学研究の社会的認知度向上の支援
 - ① 化学工学研究の新定量評価指標の策定と定着
 - ② プロセス工学領域研究の社会還元と化学界及び社会での認知度向上
 - ③ 英文誌と部会国際シンポジウムの連携による世界への発信強化
3. 国際的活動の展開と定着
 - ① 本部大会の国際化（部会シンポジウムの国際化推進）
 - ② 欧米、中国、韓国、ASEAN各国との交流緊密化の定着
4. 本部／支部／地区懇話会の連携醸成
 - ① 支部の業務効率化と独自活動、連携活動の支援
 - ② 人とモノ（知的資産、情報など）のネットワーク化

[1] 公益事業

1. 学術集会事業

(1) 本部大会

- ① 第80年会 (H27年3月19～21日) 芝浦工業大学豊洲キャンパス
 - ② 第47回秋季大会 (H27年9月9～11日) 北海道大学札幌キャンパス
- ・ 第79年会から開始した本部大会の改革第2段として第80年会では、産業界会員の発意によってテーマ設定された産業セッション（口頭セッション、総括講演とポスターセッション・名刺交換会）を新設
 - ・ 第47回秋季大会では、従来のシンポジウムとは異なる、製品や未来社会、技術体系などの出口を示したテーマ、トピック的なテーマからなる特別シンポジウムを新設

(2) 支部大会

- ・ 関東支部大会 (H27年11月) 開催地未定
- ・ 関西支部大会 (H27年12月) 開催地未定
- ・ 中国四国支部共催 (H27年12月) 開催地未定

(3) 講演会、シンポジウム

- ・ 各種講演会、シンポジウム、講習会、技術交流会等の開催

2. 国際交流事業

(1) 国際化を促進する

- ・ホームページの国際関連記事の英文化をより一層進める。
- ・アジアの各国の化学工学会の動向に注目し、特にフィリッピン、インドネシア、タイ等との交流を促進する。
- ・国際シンポジウムをより発展させる。
2015年3月年会では4セッションの国際シンポジウムを開催する。
2016年度3月年会では4セッション以上のシンポジウムを目指す。
- ・国際交流センター賞を軌道に乗せる。
学生の海外発表を支援する目的でスタートした本賞を軌道にのせる。

(2) 個別交流事業の実施

- ・中国
CIESCと日中化工シンポジウムについての引き続き新たなシンポジウム開催を模索する。昨年同様年約4回の委員会と懇話会を開催する。
- ・韓国
化学工学に関する国際シンポジウム（日韓学生シンポ, The 28th International Symposium on Chemical Engineering）に協力する。
2015年度は韓国（KICChE）担当。
- ・台湾
台湾（TwICChE）とのジョイントシンポジウムを開催できるよう努力する。
- ・ASEAN
RSCE2015への参加を2014年度以上の発表数になるようPRする。
引き続きフィリッピン、インドネシア、タイとの関係を構築する。
- ・米国
AIChE Annual meeting (Salt Lake City 11/8-12) で Reception を開催するが予算対応の Reception とする。SCEJ-AIChE の MOU について引き続き議論する。
- ・ドイツ
ACHEMA や INCHEM2015 での DECHEMA との共催フォーラムを開催する。
今後の協力関係をさらに深める。
- ・WCEC/APCCChE
APCCChE2015 (Melbourne 9/27-10/1) で開催される APCCChE Board meeting で APCCChE2019 のプレゼンを行う。APCCChE2019 の日本開催を目指して準備を始める。

(3) 化学工学各種事業の国際化に向けた検討

- ・ INCHEM TOKYO 2015 コンテンツや化学工学会企画セミナーなどの国際化

3. 人材育成事業

(1) 夢化学

- ・「夢・化学-21委員会」と協働した活動（化学の日、化学週間にあわせて）
- ・「高校生向けのビデオ教材」の更なる充実と広報活動の拡充。
- ・「高校生のための施設見学会」を開催。高校生が現場を学ぶ機会を提供。

(2) 理科教育

- ・「学生発表会」（平成27年3月7日八戸高専、徳島大学）の開催と、次年度（平成28年3月5日静岡大学、福岡大学）に向けた準備。

- ・「中高教諭とケミカルエンジニア交流のための見学講演会」を、関東・関西両支部と共催して2箇所で開催。中高教諭が工学への理解を深める機会を提供。他支部との連携も模索。
- (3) 高等教育
 - ・「化学工学教育シンポジウム」を実施。今後の高等教育活動に展開。
 - ・教育審査委員会より「JABEEと連携した活動」を継承。社会の要求に応じた高等教育機関の技術者教育を改革する活動を実施。
 - ・SIS部会情報技術教育分科会「プロセスデザイン学生コンテスト」を共催。
- (4) インターンシップ
 - ・各企業の協力の下に実施。学生が企業で研究・実習する機会を提供。学生の機会を増やすために、受入企業を更に増やすための活動を実施。
 - ・インターンシップを体験した学生が、熱の冷めぬ時期に報告会を実施。
- (5) 継続教育
 - ・保有38プログラム（プラント21、安全6、環境9、その他2）の実施。事前アンケートによる受講者の受講目的等の把握。事後アンケートに基づくプログラム見直し、教材の改定・更新。予習・復習をサポート。企業の若手技術者が実務に直結した技術を学ぶ機会を提供。
 - ・技術者向け新規継続教育プログラムの開発と実施。
 - ・企業の若手社員を対象にした特典の適用範囲を拡大。
 - ・一部講座で修了レポートを実施。化学工学技士受験との連携を試行。
- (6) 経営ゼミナール
 - ・社会経済の動きに即応し、リーダーシップを発揮できる経営者の育成。
 - ・第41回経営ゼミナール（平成27年9月4, 5日芦屋、10月2, 3日伊東、10月30, 31日名古屋、12月4, 5日東京）の実施。テーマ：「新日本創生へのステップアップ～自らを変え、変革の波を創れ！～」。
 - ・過去の受講者が集うOB会を実施。
- (7) その他
 - ・「教育奨励賞」の審査・選考。

4. 資格付与事業

(1) 資格制度運営

- ・「上席化学工学技士」の審査に向けた運営。認定、更新。
- ・「化学工学技士」の試験実施に向けた運営。認定、更新。
- ・「化学工学技士（基礎）」の試験実施に向けた運営。認定。
- ・「化学工学修習士」の審査に向けた運営。認定。
- ・「技士会」立ち上げに向けた活動支援。

5. 出版事業

(1) 学会誌

- ・部会発の記事の充実
- ・電子ブック化の検討
- ・広告（会誌、HP）獲得の拡大

(2) ホームページ

- ・新ホームページの作成・公開

6. 受託事業

- ・第80年会での「震災復興促進と学協会連携シンポジウム」実施を含む福島原発事故問題への学会組織対応の検討継続
- ・調査研究事業の実施及び受託等の情報収集

7. 技術相談事業

- ・産から学会への提言システムの構築と連携の推進
- ・常置委員会の活動支援による交流会の増強
- ・課題解決型タスクフォース等の推進

8. 審査事業

- ・論文誌のプレゼンス向上に係わる企画立案
- ・特集企画の立案による投稿記事の促進
- ・論文投稿及び出版における不正行為防止のためのガイドライン制定

9. 表彰事業

- ・名誉会員候補者の推薦
- ・H27年度化学工学会賞の表彰

10. 男女共同参画事業

- ・第80年会にて著名な女性講演者による講演会、「女性賞」受賞記念講演及び、女性研究者の研究成果講演を含むシンポジウム「女性技術者フォーラム」の実施
- ・「女性技術者ネットワーク」を継続的に開催
- ・「うちの取組」記事を含む「目指せ！ダイバーシティ」シリーズを継続
- ・本部大会開催期間中における保育サービスの実施

[2] 収益等事業

1. 展示出展事業

- ・INCHEM TOKYO 2015 の開催 (H27年11月25日～27日)
プラントショー・ECO-MAnufacture・水イノベーション・先端材料展の4つの展示会と、産学官マッチングフォーラム、日独先端科学技術フォーラム (DECHEMA と共催) を開催
- ・グリーン・イノベーション2016の計画立案

2. 相互扶助事業

- (1) 支部・懇話会
 - ・地域CT賞の表彰
- (2) 部会
 - ・部会の専門書の出版の推進
 - ・部会CT賞の表彰
 - ・部会HPの継続的な更新と適切な運用の推進
- (3) 会員増強

- ・入会パンフレット修正
 - ・秋季大会でのポスターセッションの継続
 - ・HPをつかった会員増強運動
 - ・会員増強功績賞の表彰
- (4) 戦略企画
- ・Vision 2023 の継続的なフォロー
 - ・クローズドコンソーシアムによる既存プロセスの技術革新の検討継続
 - ・次世代エネルギー社会の技術、システムの提言を継続
 - ・経済産業省との意見交換会を継続
 - ・化学工学教育を維持、発展させていくための検討継続

[3] 刊行物

1. 定期刊行物

- (1) 「化学工学」誌 第79巻No. 1～12号(12冊)
- ・ページ数：60ページ/号平均
- (2) 「化学工学論文集」第41巻No. 1～6
- ・ページ数：80ページ/号平均
- 電子版：奇数月発行6回/年
冊子版：1、3月号、5、7月号、9、11月号を合本として年3回発行
- (3) “JOURNAL OF CHEMICAL ENGINEERING OF JAPAN” 第48巻No. 1～12
- ・ページ数：80ページ/号平均
- 電子版：毎月発行 12回/年
冊子版：1～3月号、4～7月号、8～12月号を合本として年3回発行

2. 不定期刊行物

- ・エクセルで気楽に化学プロセス計算 (丸善出版)
- ・化学工学のための数学の使い方 (丸善出版)

[4] 支部事業

別紙「平成27年度各支部事業計画書」参照

[5] 部会事業

別紙「平成27年度各部会事業計画書」参照

平成27年度支部事業計画書

(自 平成27年 3月 1日～至 平成28年2月28日)

公益社団法人 化学工学会

[] 共催行事・() 地区懇話会名等・○ 印日程未定

北海道支部		東北支部		関東支部	
27年3月	9 [] 日本化学会第6回分子科学研究発表会(登別市)	7 ○ 第17回化学工学学生研究会(大宮/大宮高専) 8 ○ 触媒学会東日本支部・東北地区講演会(東北大)(東北支部協賛) 12 ○ (宮城)第16回宮城化学工学懇話会先端研究発表会(東北大)(東北支部協賛) ○ (秋田)第49回秋田化学技術協会研究発表会	1 ○ 第16回学生発表会 4 ○ 第6回幹事会 6 ○ 第10回バイオプロセス基礎セミナー(北関東懇話会) 6 ○ つくば学生研究交流会(つくば懇話会)		
4月		○ (宮城)総会(東北大) ○ 東北支部特別講演会(東北大) ○ (岩手)総会(岩手大)	○ 第1回運営会議		
5月	○ 平成27年度第1回常任幹事会(北大)	○ (山形)総会(山形大) ○ (山形)山形化学工学懇話会講演会(山形大) ○ (福島)総会(こらっせふくしま) ○ (青森)総会 ○ (青森)青森化学工学懇話会技術講演会	○ 第1回幹事会 ○ 神奈川技術見学・講演会(神奈川懇話会) ○ 講演会(つくば懇話会) ○ 理事会・総会・第136回講演会(新潟懇話会)		
6月	○ 平成27年度第1回役員会 ○ 第18回化学工学北海道アカシアセミナー(北大)(第154回講演会)	12~13 ○ 第23回東北支部若手の会セミナー(福島) ○ (秋田)総会 ○ (秋田)第41回ケミカルエンジニアリング交流会(東北支部協賛)	○ 第52回関東技術サロン・第2回幹事会 ○ 初心者のための化学工学入門コース ○ 総会および記念講演会(北関東懇話会)		
7月	○ [(平成27年度)微粒子工学講演会](札幌・北海道立工業試験場)	○ 第51回プロセス設計技術講演会・見学会(宮城)	25 ○ 第21回現代寺子屋講座 ○ 中高教諭とケミカルエンジニア交流見学講演会 ○ つくば化学技術懇話会 総会・合同講演会(つくば懇話会)		
8月		○ 第20回東北ジョイント夏季セミナー(青森) ○ 東北支部平成27年度第1回役員会 ○ (福島)夢化学21	○ 第3回幹事会 ○ バイオプロセス講演見学会 ○ 第21回旬の技術講演見学会 ○ 第44・45回化学工学基礎講習会(新潟懇話会)		
9月	9~11 第47回秋季大会(北大)	○ (宮城)第17回宮城化学工学懇話会先端研究発表会(東北大)(東北支部協賛) 12~13 ○ [(平成27年度)化学系学会東北大会](弘前大) ○ (福島)福島化学工学懇話会講演会	○ 第3回幹事会 ○ 第20回基礎化学工学講習会(1・2日目) ○ 第2回幹事会(新潟懇話会) ○ 第46・47回化学工学基礎講習会(新潟懇話会)		
10月		○ 第52回プロセス設計技術講演会・見学会(岩手) ○ (岩手)岩手化学工学懇話会講演会および見学会 in 奥州市 (東北支部協賛) ○ (岩手)岩手化学工学懇話会講演会 in 北上市 (東北支部協賛) ○ (岩手)岩手化学工学懇話会講演会 in 花巻市 (東北支部協賛) ○ (青森)青森化学工学懇話会講演会	○ 第3回運営会議 ○ 第20回基礎化学工学講習会(3・4日目) ○ 第20回基礎化学工学講習会(5・6日目) ○ 第46回CESシリーズ講習会 ○ 見学会(つくば懇話会) ○ 研修懇話会(北関東懇話会)		
11月	○ 平成27年度見学会および講演会(苫小牧・北海道青達赤)(第155回講演会)	○ 日本エネルギー学会東北支部平成27年度講演会ならびに見学会(東北支部協賛) ○ 第28回バイオコンファランス(東北支部協賛) ○ (秋田)第42回ケミカルエンジニアリング交流会(東北支部協賛) ○ [(第31回)表面技術セミナー](岩手大) ○ (岩手)[第25回化学工学一関セミナー](一関高専)	27-28 ○ 群馬大会 ○ 第53回関東技術サロン ○ 第23回イブニングセミナー ○ 千葉コンビナート講習会		
12月	○ 平成27年度第2回常任幹事会(北大)	○ (山形)山形化学工学懇話会技術講演会(山形大) ○ (福島)第6回福島地区CEセミナー(東北支部協賛)	○ 第17回材料セミナー ○ 第137回講演会(新潟懇話会) ○ 第3回幹事会(新潟懇話会)		
28年1月	29~30 29 第25回化学工学・粉体工学研究発表会(室蘭工業大学)平成27年度第2回役員会	○ 第53回プロセス設計技術講演会・見学会(宮城) ○ 東北支部平成27年度第2回役員会(宮城) ○ (福島)福島化学工学懇話会見学会	○ 講演会(北関東懇話会) ○ 最近の化学工学講習会85		
2月	23~24 [(北海道大学工学部)フロンティア化学教育研究センター第4回国際シンポジウム](北海道大学工学部鈴木草ホール)		20 第4回運営会議		

平成27年度支部事業計画書
(自 平成27年 3月 1日～至 平成28年2月28日)

公益社団法人 化学工学会

東海支部		関西支部		中国四国支部		九州支部	
31	第1回幹事会	4 5 6,7 7 10	Chemical Engineering English Colloquium(大阪) 化学工学CFD研究会第3回研究会(大阪) 工業化技術研究会第10回例会(滋賀) 第17回化学工学会学生発表会徳島大会(徳島) 第1回幹事会(大阪)	11	<中国四国><中国>プラント保全研究会(広島)		
		○	第1回委員長連絡会	17 ○	<中国四国><中国>総会・記念講演会(広島) <徳島>第97回講演会(徳島)	○	第1回役員会
○	第2回幹事会 ○ <静岡>役員会・総会/第50回 静岡コロキウム ○ 第8回機器分析講習会	○	学生の会幹事会 ○ <北陸>定期総会・第1回理事会 ○ <播磨>第1回理事会 ○ <播磨>定期総会	○	<岡山>総会・特別講演会	○	第1回幹事会 ○ <西九州>総会・講演会 ○ <北九州>総会・講演会
17~19 24~26	第39回 基礎化学工学演習講座(名古屋市 工業研究所)	○ 21 ○	第2回幹事会 セミナー「機材のイノベーション」(大阪) プラント・プロセス研究会第16回見学会	19 ○	<中国四国><徳島>総会・記念講演会(徳島) <中国四国><山口>総会・講演会・見学会 (場所未定)	27~28 ○	第52回化学関連支部合同九州大会 九州支部学生賞審査会
○	第3回幹事会 ○ <静岡>子供たちのための理科倶楽部	○	学生の会大学見学会・月例セミナー 環境&資源エネルギー研究会第13回講演会 開発型企業連携研究会セミナー&ミキサー(滋賀) 水素・燃料電池システム研究会 第1回燃料電池講演会 ○ 化学工学CFD研究会 第4回研究会 ○ 化学工学イノベーション研究会第16回研究会(京都) ○ <北越>第10回北越地区化学工学研究交流会(富山)	○	<中国>新技術交流会(広島) ○ <岡山>化学工学基礎講習会(H27年度第1回)	17~18 ○	第26回九州地区若手ケミカルエンジニア対談会 <南九州>総会・講演会
○	第97回 講演見学会	○	学生の会企業見学会 ○ <北越>第213回装置懇話会(富山)	○	<中国>広島大学オープンキャンパス(広島大) <岡山>第11回「未来を担う!産学官技術者 ・研究者交流会」 ○ <中国四国><山口>化学工学基礎講習会(宇部) ○ <中国四国><中国>基礎化学工学講習会(広島大) ○ <若手>若手CE会宿(愛媛)	○	第46回化学工学の基礎講習会 <東九州>総会・講演会
11	[第108回 東海技術サロン](中部科学技術 センター・東海化学工業会担当) ○ 第3回初歩からの化学工学概論・演習講座 ○ 第2回初歩からの化学工学数学演習講座	○	[人材育成センター 共催]第41回経営ゼミナール 関西セッション(芦屋) ○ [各支部若手の会 共催]CES21若手・中堅 研究者懇話会(北海道) ○ 工業化技術研究会第11回研究会 ○ <播磨>第7回工学基礎講座(姫路)	○	<中国四国><中国>基礎化学工学講習会(広島大) ○ <若手>若手CE会宿(愛媛)	○	第2回役員会
30~31	[人材育成センター 共催]第40回 経営ゼミナール 東海セッション(沼和セミナープラザ) ○ 第4回幹事会 ○ 第6回 三重コロキウム ○ <静岡>第23回 静岡フォーラム (研究交流セミナー) ○ 第7回 製粉技術講習会	○	第3回幹事会 セミナー「実用化のためのマイクロリアクター設計法(仮) (京都)」 ○ 第21回実践化学工学講座 全10日間(大阪) ○ 学生の会大学見学会・月例セミナー ○ 環境&資源エネルギー研究会第14回講演会 ○ プラント・プロセス研究会第17回見学会 ○ 化学工学イノベーション研究会第17回研究会(徳島) (鳥取県大子町 大子町立化学イノベーションセンター) ○ <北越>第2回理事会	○	<岡山>学生工場見学会(岡山)	○	第2回幹事会 ○ 九州支部ワークショップ(セミナー)
7~8	[第16回 中部化学関係協会支部連合秋 祭大会][中部大学春日井キャンパス] ○ 第49回 進歩講習会 ○ <静岡>第22回 企業技術交流会	○	セミナー「設備のイノベーション」 セミナー「製造現場のリアルタイムデータ分析 (IoT)の活用」(大阪) 第22回 ノボアインベンション に関する現場監督者セミナー ○ 学生の会企業見学会 ○ 水素・燃料電池システム研究会 水素・燃料電池講演会 ○ 化学工学CFD研究会 第3回「ゼロからできる CFD-明日から若手CFD技術者」 ○ <北越>第69回化学工学講習会(富山) ○ <播磨>第2回幹事会 ○ <播磨>企業見学会	○	<中国四国><中国>2015年度セミナー(広島) ○ <山口>化学工学研究会(宇部) ○ <徳島>工場見学会(徳島)	27~29 ○	化学工学の基礎出前講習会 2015日本・台湾・韓国化学工学国際会議
○	第5回幹事会 ○ <静岡>大人のための理科倶楽部	○	第4回幹事会 セミナー「現場責任者に役立つ製造現場の 省エネルギー(仮)」(大阪) ○ 実践化学工学講座アドバンスコースその1 第3回留学生のつどい ○ 学生の会幹事会 ○ 第28回CES21コロキウム ○ [中国四国支部 共催]支部大会 ○ 和歌山地区共催セミナー ○ 第14回京滋化学技術交流会 ○ 開発型企業連携研究会 セミナー&ミキサー ○ 化学工学イノベーション研究会第18回研究会	○	<徳島>第20回徳島地区分析技術セミナー(徳島) ○ <中国四国>中国四国支部大会	4~5	第28回化学工学に関する国際シンポジウム
○	第1回 常任幹事会 ○ 第98回 講演見学会	○	実践化学工学講座アドバンスコースその2 プラント・プロセス研究会第18回見学会 ○ <北越>第214回装置懇話会(富山)	○	<岡山>化学工学基礎講習会(H27年度第2回)	○	第18回企業と大学・高専の人材育成懇談会 第3回役員会
9	第6回 幹事会/役員会/第109回東海技術サロン 【ナノバクNAGOYA】 ○ <静岡>第51回 静岡コロキウム	○	第5回幹事会 セミナー「医薬品製造に関わるGMPの最新動向」 講演&見学会(仮) ○ 第28回CES21講演会 ○ 環境&資源エネルギー研究会第15回講演会 ○ 工業化技術研究会第12回研究会 ○ <北越>第3回理事会 ○ <播磨>第3回幹事会 ○ <播磨>第34回播磨産業フォーラム	○	<中国四国><山口>講演会・見学会(場所未定)	○	第3回幹事会

平成 27 年度部会事業計画書

- | | |
|-------------------------|--------------------|
| 1. 国際関連事業 | 2. シンポジウム・講演会などの行事 |
| 3. 本部大会・支部行事関連行事 | 4. 講習会・セミナーなどの啓発活動 |
| 5. 出版物・特集号などの化学工学出版への寄与 | 6. 受託事業の推進 |
| 7. 部会ニュース・メールマガジンなどの発行 | 8. 特記事項 |

A. バイオ部会

1. 国際関連事業

- ・バイオ部会国際シンポジウム:
「Japan-Thai Symposium in Food Engineering -Forefront Research on Food Process Engineering-」
(3月20日; 芝浦工業大学)
- ・Asian Pacific Confederation of Chemical Engineering Congress
(9月28日~10月1日; Melbourne, Australia)
- ・米国化学工学会年次大会 SCEJ-AIChE joint session Bioseparation and Bionanotechnology
(11月9日~10日; Hilton Salt Lake City)
- ・Asian Conference of Biotechnology
(11月15~19日; Kuala Lumpur)
- ・Bioseparation 実習
(12月初旬; 山口大学工学部)

2. シンポジウム・講演会などの行事

- ・バイオ部会国際シンポジウム
「Japan-Thai Symposium in Food Engineering -Forefront Research on Food Process Engineering-」
(3月20日; バイオ部会主催)
- ・第47回秋季大会シンポジウム (北海道大学札幌キャンパス)
バイオ部会ポスターセッション
(9月9~11日のいずれか; バイオ部会主催)
- 企業発表を主体とする次世代バイオ分離プロセス(タイトル未定)
(9月9日~11日のいずれか; バイオ部会主催, 次世代バイオ医薬品製造技術研究組合共催)
- メディカルと化学工学(案)
(9月9日~11日のいずれか; バイオ部会, 材料・界面部会, システム・情報・シミュレーション部会共催)
- 再生医療における化学工学的アプローチ(案)
(9月9~11日のいずれか; バイオ部会メディカル分科会主催)
- 生物情報分野に関するシンポジウム(案)
(9月9~11日のいずれか; バイオ部会生物情報分野専門分科会主催)
- バイオマスのエネルギーに関するシンポジウム(タイトル未定)
(9月9~11日のいずれか; エネルギー部会バイオマス分科会主催,
バイオ部会環境生物分野分科会・日本エネルギー学会共催)
- 食糧・食品生産に関するシンポジウム(タイトル未定)
(9月9~11日のいずれか; 化学工学会主催, 日本食品工学会共催)
- ・微生物が促進する鉄鋼材料の腐食(仮称)
(9月17日頃; 日本鉄鋼協会主催, 化学工学会 他共催)
- ・日本食品工学会 2015 年度秋季講演会
(11月頃; 日本食品工学会主催, 化学工学会 バイオ部会 食糧・食品生産分野専門分科会共催)
- ・シンポジウム「細胞アッセイ技術の現状と将来」
(12月初旬; 細胞アッセイ研究会主催, 産業技術総合研究所, 東京大学生産技術研究所,
化学工学会バイオ部会(以上予定) 共催, 化学とマイクロ・ナノ学会, 日本動物実験代替法学会, 他 (以上予定)協賛)
- ・バイオ部会インフォーマルミーティング
(開催月日未定; 場所未定, バイオ部会主催)

3. 本部大会・支部行事関連行事

- ・第80年会国際シンポジウム
「Japan-Thai Symposium in Food Engineering -Forefront Research on Food Process Engineering-」
(3月20日; バイオ部会主催)

4. 講習会などの啓発活動

- ・Bioseparation 実習
(12月初旬; 山口大学工学部会場; バイオ部会主催, 次世代バイオ医薬品製造技術研究組合共催)

5. 出版物・特集号などの化学工学会出版への寄与

特になし

6. 受託事業の推進

特になし

7. 部会ニュース・メールマガジンなどの発行

- ・Newsletter No.39 (2015年6月発行)
- ・Newsletter No.40 (2015年10月発行)
- ・Newsletter No.41 (2016年2月発行)

8. その他

- バイオ部会平成27年度総会 (3月19～21日のいずれか; 芝浦工業大学)
- バイオ部会平成27年度第1回役員会 (9月9～11日のいずれか; 北海道大学札幌キャンパス)
- バイオ部会平成27年度第2回役員会 (2月中; 東京大学本郷キャンパス)

B. 超臨界流体部会

1. 国際関連事業

- ・Green Solvents for Green Chemistry (4月13～14日; The Royal Society UK)
- ・The International Conference on Materials for Advanced Technologies, ICMAT2015 Conference (6月28日～7月3日; Suntec Singapore Convention & Exhibition Centre)
- ・The 7th Green & Sustainable Chemistry (7月5～8日; Tokyo)
- ・The 7th International Symposium on "Molecular Thermodynamics and Molecular Simulation (MTMS'15)" (8月4～7日; Nanakuma Campus of Fukuoka University in Fukuoka, Japan.)
- ・11th International Symposium on Supercritical Fluids Incorporating (10月11～14日; Seoul, The Republic of Korea)
- ・SuperGreen (10月11～14日; Seoul, The Republic of Korea)
- ・World Engineering Conference and Convention (11月28日～12月4日; Kyoto, Japan)
- ・PACIFICHEM 2015 (12月15～20日; Honolulu, Hawaii)

2. シンポジウム・講演会などの行事

- ・共催事業
超臨界流体クロマトグラフィ研究会 3回/年
分離技術会年会 2015 (5月29～30日; 明治大学生田校舎)
- ・高圧討論会 (11月)

3. 本部大会・支部行事関連行事

- ・第80年会
- ・第47回秋季大会

4. 講習会などの啓発活動

- ・第14回サマースクール (8月予定)
- ・基礎セミナー (1月)

5. 出版物・特集号などの化学工学会出版への寄与

- ・化工年鑑

6. 受託事業の推進

- 特になし

7. 部会ニュース・メールマガジンなどの発行

- ・部会ニューズレターNo.21, 22 発行予定

8. その他

C. エネルギー部会

1. 国際関連事業

- 特になし

2. シンポジウム・講演会などの行事

- ・平成27年度熱利用分科会研究会(熱利用) (6月～8月頃; 場所未定)
- ・合同研究会(熱利用/ 新エネルギー・エネルギーシステム/炭素系資源利用) (11月～12月頃; 場所未定)
- ・第3回先端計測技術の応用展開に関するシンポジウム(微量成分) (12月頃; 場所未定)
- ・第15回(2015年)バイオマス部会・研究会 合同交流会 (バイオマス) (10月頃; 場所未定)
- ・第52回石炭科学会議(共催) (炭素系資源利用) (10月頃; 場所未定)

3. 本部大会・支部行事関連行事

- ・第80年会: シンポジウム "Advances in Electrical Energy Conversion and Storage" (燃料電池・電池分科会) (3月20日; 芝浦工業大学)
- ・第47回秋季大会: シンポジウム (熱利用/ 新エネルギー・エネルギーシステム/炭素系資源利用/微量成分) エネルギーシンポジウム
- ・第47回秋季大会: シンポジウム (燃料電池/ 共催: 材料界面部会・反応工学部会)

- (仮題) 次代を担う各種電池等のエネルギーデバイスの新展開「材料・プロセス・システム」
- ・第47回秋季大会: シンポジウム(バイオマス) バイオマスの生物化学変換, 熱化学変換とその融合
 - ・第81年会

4. 講習会などの啓発活動

- ・第4回若手セミナー(熱利用) (10月~12月頃; 場所未定)
- ・第2回勉強会(炭素系資源利用) (9月頃; 場所未定)
- ・見学会(バイオマス) (3月頃; 場所未定)
- ・見学会(燃料電池) (11月頃; 場所未定)

5. 出版物・特集号などの化学工学会出版への寄与 特になし

6. 受託事業の推進 特になし

7. 部会ニュース・メールマガジンなどの発行 特になし

8. その他 特になし

D. 安全部会

1. 国際関連事業 特になし

2. シンポジウム・講演会などの行事

- ・安全講演会 (2014年11月; 東大山上会館)
- ・ワーキンググループ活動
 - ・ Process Chemistry 標準モデルワーキンググループ
 - ・安全管理マトリクスWGと設備保全技術の体系化WGの研究
 - ・新規に2~3 ワーキンググループ立ち上げ予定
- ・安全サロン (3~4か月に1度化学工学会会議室にて開催予定)

3. 本部大会・支部行事関連行事

- ・第46回秋季大会
「安全部会シンポジウム」
①業務プロセスの見える化 ②安全部会の新WG ③事故事例の現場での活用 ④他

4. 講習会などの啓発活動

- ・第22回安全セミナー(安全評価手法(HAZOP)) (2016年2月)
- ・非定常HAZOPのセミナーを具体化する.
- ・ノンテクニカルスキル講習会立ち上げ: 年3~5回

5. 出版物・特集号などの化学工学会出版への寄与

- ・テクニカルレポートの発行:
 - ・現在のWG活動が2年経過したのでその報告をテクニカルレポートとしてまとめる.
事故事例活用WG ・マトリクスWG ・設備保全WG
 - ・化学工学会特集: 英文誌

6. 受託事業の推進 特になし

7. 部会ニュース・メールマガジンなどの発行 特になし

8. その他 特になし

E. エレクトロニクス部会

1. 国際関連事業

- ・予定なし. ただし臨時開催はある.

2. シンポジウム・講演会などの行事

- ・シンポジウム (10月)

3. 本部大会・支部行事関連行事

- ・第80年会 セッション「エレクトロニクス」

- ・ 第 47 回秋季大会「エレクトロニクス材料とプロセス」
- 4. 講習会などの啓発活動
 - ・ シンポジウム要旨集のホームページへの掲載
- 5. 出版物・特集号などの化学工学会出版への寄与
 - ・ 「化学工学」年鑑への寄稿
- 6. 受託事業の推進
- 7. 部会ニュース・メールマガジンなどの発行
 - ・ 部会ニュースの配信とホームページへの掲載
- 8. その他
 - ・ 部会ニュースの配信とホームページへの掲載

F. 粒子・流体プロセス部会

1. 国際関連事業
 - 特になし
2. シンポジウム・講演会などの行事
 - ・ 部会セミナー
 - ・ 平成 27 年度ミキシング技術分科会夏期セミナー
 - ・ 第 24 回東日本地区ミキシング技術サロン
 - ・ 第 25 回関西東海地区ミキシング技術サロン
 - ・ 第 20 回九州地区ミキシング技術サロン
 - ・ 粉体プロセスセミナー
 - ・ 微粒子工学講演会(共催)
 - ・ 機能性粉体プロセス研究会(共催)
3. 本部大会・支部行事関連行事
 - ・ 第 47 回秋季大会シンポジウム
4. 講習会などの啓発活動
 - ・ 若手研究者・技術者を対象とした工場見学および交流会
5. 出版物・特集号などの化学工学会出版への寄与
 - 特になし
6. 受託事業の推進
 - 特になし
7. 部会ニュース・メールマガジンなどの発行
 - ・ 部会ニュースレター(13 号, 14 号)
 - ・ ミキシング技術分科会誌 Mixing Technology Now No.20 の発行
8. その他
 - ・ 部会賞の公募, 審査・授与および記念講演会の開催

G. システム・情報・シミュレーション部会

1. 国際関連事業
 - ・ プロセス強化に関する国際セミナー (9 月頃; 神戸)
2. シンポジウム・講演会などの行事
 - ・ プラントオペレーション分科会 第 134 回研究会 (4 月)
 - ・ プラントオペレーション分科会 第 135 回研究会 (7 月)
 - ・ プラントオペレーション分科会 第 136 回研究会 (10 月)
 - ・ プラントオペレーション分科会 第 137 回研究会 (2016 年 1 月)
 - ・ 統合化学分科会 2015 年度 第 1 回研究会 (4 月)
 - ・ 統合化学分科会 2015 年度 第 2 回研究会 (7 月)
 - ・ 統合化学分科会 2015 年度 第 3 回研究会 (10 月)
 - ・ 統合化学分科会 2015 年度 第 4 回研究会 (2016 年 1 月)
 - ・ ダイナミックプロセス応用分科会 平成 26 年度 研究討論会 (11 月頃)
 - ・ 情報技術教育分科会研究会 (3 月下旬)
 - ・ 情報技術教育分科会研究会 (8 月下旬)
 - ・ 情報技術教育分科会研究会 (9 月 11 日)

- ・情報技術教育分科会研究会 (12月上旬)
- ・情報技術教育分科会研究会 (2016年1月下旬)
- ・コストエンジニアリング分科会 関東分科会 (4月)
- ・コストエンジニアリング分科会 関西分科会 (5月)
- ・コストエンジニアリング分科会 関東分科会 (7月)
- ・コストエンジニアリング分科会 関東関西合同合宿 (8月)
- ・コストエンジニアリング分科会 関西分科会 (10月)
- ・コストエンジニアリング分科会 関東分科会 (10月)
- ・コストエンジニアリング分科会 関東分科会 (2016年1月)
- ・コストエンジニアリング分科会 関西分科会 (2016年2月)

3. 本部大会・支部行事関連行事

- ・第80年会
- ・第47回秋季大会 (9月)
 - ・第14回プロセスデザイン学生コンテスト
 - ・部会企画 シンポジウム:タイトル未定
 - ・統合化学分科会 シンポジウム:タイトル未定
 - ・ダイナミックプロセス応用分科会 シンポジウム:タイトル未定
 - ・コストエンジニアリング分科会 シンポジウム:タイトル未定

4. 講習会などの啓発活動

- ・第33回プラントオペレーションに関する現場監督者セミナー (11月)

5. 出版物・特集号などの化学工学会出版への寄与

- ・化工誌特集号「これからのプロセス安全」(安全部会との共同企画)
- ・統合工学に関する出版事業
2006年に出版された「統合学入門」に続く、統合工学の実践事例をまとめた書籍を執筆中である。
本年度は各分担者による執筆ならびに、全体の編集作業を進める。

6. 受託事業の推進

特になし

7. 部会ニュース・メールマガジンなどの発行

- ・部会員(約300名)宛のメールマガジンを不定期に発行予定(年間12通程度)、部会ホームページの更新および拡充

8. その他

- ・SIS 部会幹事会 (3月;芝浦工業大学)
- ・SIS 部会幹事会 (9月;北海道大学)
- ・SIS 部会賞の授与 (3月,9月)
- ・オペレータ意識に関するアンケート調査の報告書を発行

H. 反応工学部会

1. 国際関連事業

- ・ChinaALD, KoreaALD などとの連携(協賛)

2. シンポジウム・講演会などの行事

- ・第11回化学工学会反応工学部会若手会(反好会)講演会 (3月)
- ・第14回大気圧プラズマ関連の講演会・見学会 (5月)
- ・第16回微細気泡関連の講演会 (6月)
- ・第12回化学工学会反応工学部会若手会(反好会)講演会 (9月)
- ・第24回ソノケミストリー討論会(共催) (10月23~24日)
- ・ソノケミストリー分科会講演見学会 (10月)
- ・第15回大気圧プラズマ関連の講演会・見学会 (11月)
- ・第17回微細気泡関連の講演会 (12月)
- ・第21回流動化・粒子プロセスシンポジウム (12月)
- ・シンポジウム(CVD 反応分科会)4回開催
- ・反応分離講習会(開催時期未定)
- ・第10回反応装置・プロセスシンポジウム(未定)

3. 本部大会・支部行事関連行事

- ・第47回秋季大会特別シンポジウム「燃料電池自動車・水素供給の最前線と今後の課題」 (9月)
- ・秋季大会シンポジウム開催(CVD・ドライプロセス, 材料・界面部会, 超臨界流体部会と共催) (9月)

4. 講習会などの啓発活動
 - ・第 6 回マイクロ化学プロセス分科会討論・交流会 (6 月)
 - ・触媒反応工学分科会主催 分科会賛助会員の集い (秋)
 - ・第 9 回触媒劣化セミナー(触媒反応工学分科会主催) (秋)
 - ・第 7 回マイクロ化学プロセス分科会講演会 (開催年・月未定)
 - ・第 55 回オーロラセミナー(触媒学会北海道地区主催)への援助
 - ・CVD 基礎講習会
5. 出版物・特集号などの化学工学会出版への寄与
 - ・化学工学年鑑 2014 の執筆
(触媒反応工学, ソノプロセス, 活性種化学, 反応分離, 反応装置・プロセス, CVD 反応, マイクロ化学プロセス, 反応場の工学)
6. 受託事業の推進
 - 特になし
7. 部会ニュース・メールマガジンなどの発行
 - ・触媒反応工学分科会平成 27 年度劣化報告書の作成および賛助会員などへの配布
 - ・反応分離ニュース(1 回/年)
8. その他
 - ・Facebook を使用した情報発信(随時)(マイクロ化学プロセス分科会)

I. 環境部会

1. 国際関連事業
 - ・第 79 年会国際シンポジウム: Clean Technologies using Biomass in Asia -Effective Use of Biomass as a Means of Protecting and Improving the Environment-
(3 月 20 日; 芝浦工業大学豊洲キャンパス; 環境部会主催)
 - ・第 13 回資源リサイクルと材料科学に関する日韓国際シンポジウム (5 月 13~15 日; 京都ガーデンパレス; 協賛)
 - ・24th Japan-Korea Symposium on Water Environment (8 月; KAIST; 協賛; ソウル)
2. シンポジウム・講演会などの行事
 - ・第 28 回環境工学連合講演会『Future earth: 工学が果たす役割について』
(5 月 15 日; 日本学術会議講堂; 実行委員会)
 - ・各分科会において見学会等を実施予定
3. 本部大会・支部行事関連行事
 - ・化学工学会秋季大会においてシンポジウム「環境部会シンポジウム」を主催
 - ・化学工学会秋季大会においてシンポジウム「IPCC 第 5 次報告書と気候政策」を主催
4. 講習会などの啓発活動
 - ・水環境関連のセミナーを実施予定
5. 出版物・特集号などの化学工学会出版への寄与
 - ・化学工学 10 月号特集 化学工学年鑑 2015 (環境化学工学)
6. 受託事業の推進
 - 特になし
7. 部会ニュース・メールマガジンなどの発行
 - ・部会関連の情報を適宜, 部会員全体のメーリングリストにて提供
8. その他
 - ・環境部会平成 27 年度総会 (3 月 19 日; 芝浦工業大学豊洲キャンパス)
 - ・環境部会平成 27 年度幹事会 (9 月 9 日; 北海道大学札幌キャンパス)

J. 材料界面部会

1. 国際関連事業
2. シンポジウム・講演会などの行事
 - ・材料化学システム工学討論会 2015 (夏頃; 東京工業大学)
 - ・Nanoporous Materials for Renewable Energy and Sustainability (2015 環太平洋国際化学会議 12 月 15~20 日)
 - ・第 8 回 マイクロカプセル研究会講演会 (開催日時, 場所は調整中)
 - ・第 14 回 機能性微粒子分科会セミナー (開催日時, 場所は調整中)
 - ・塗布技術分科会 第 55 回定例会合 (関東)

- ・塗布技術分科会 第 55 回定例会合 (関西)
 - ・塗布技術分科会 第 56 回定例会合 (関東)
 - ・塗布技術分科会 第 56 回定例会合 (関西)
3. 本部大会・支部行事関連行事
- ・第 47 回秋季大会 特別シンポジウム企画(燃料電池自動車・水素供給の最前線と今後の課題 提案中)
 - ・第 47 回秋季大会 材料・界面討論会「材料創出と界面制御の新展開」(オーラル&ポスター) (北海道大学)
 - ・第 47 回秋季大会 高分子・ゲルテクノロジー, 自己組織化プロセス, 機能性微粒子に関する横断的シンポジウムを開催予定 (北海道大学)
 - ・化学工学会第 47 回秋季大会でのシンポジウム開催 (晶析技術分科会)
 - ・化学工学会第 81 年会での総会開催 (晶析技術分科会)
 - ・秋季大会シンポジウム<材料・界面討論会「塗布技術と表面加工」>
4. 講習会などの啓発活動
- ・夏の晶析セミナー開催
5. 出版物・特集号などの化学工学会出版への寄与
- 特になし
6. 受託事業の推進
- 特になし
7. 部会ニュース・メールマガジンなどの発行
- ・【材料・界面部会ニュース】部会員に対して随時メール配信
 - ・晶析関連企画スケジュールのメールマガジン配信
8. その他
- ・ H27 年, 高分子・ゲルテクノロジー分科会メンバー会合 (秋季大会会期中を予定)
 - ・ H27 年 第 1 回 機能性微粒子分科会委員会 (3 月 19 日を予定)
 - ・ H27 年 第 2 回 機能性微粒子分科会委員会 (9 月 9 日を予定)
 - ・ 学生・若手研究者交流会 (第 47 回秋季大会期間中)

K. 基礎物性部会

1. 国際関連事業
- ・ 2015 年 8 月 4 日～7 日に福岡において, 7th International Symposium on Molecular Thermodynamics and Molecular Simulation (MTMS' 2015) を超臨界部会と共に共催する.
 - ・ AIChE Annual Meeting におけるシンポジウムに, 部会員を Co-chair として派遣する.
2. シンポジウム・講演会などの行事
- ・ 秋季大会において, 基礎物性部会主催シンポジウムならびに, 超臨界流体部会との共催シンポジウムを開催する.
 - ・ 分離技術会との共催および協賛の講演会等を開催する.
3. 本部大会・支部行事関連行事
- 特になし
4. 講習会などの啓発活動
- ・ 分離技術会等関連学会と協賛で, 企業研究者を対象とした物性測定技術, 推算法の最新技術およびその応用に関する講習会を共催する.
5. 出版物・特集号などの化学工学会出版への寄与
- ・ 化学工学誌に連載した「シミュレータでの物性推算」の記事を基に専門書を発行することを計画している.
6. 受託事業の推進
- ・ 文部科学省や経済産業省等の大型の研究費獲得に向け, 部会員間・他部会員との連携を図る.
7. 部会ニュース・メールマガジンなどの発行
- ・ 部会員に向けた部会ニュース・メールマガジンを配信, 部会員間の情報交換と部会事業への積極的な参加を促す.
8. その他
- ・ 本年度は, 8 月に開催する MTMS' 2015 を成功裏に終了させることを第一義として, 超臨界部会と共に, 本シンポジウムへの部会員の積極的参加・発表を促す.

L. 分離プロセス部会

1. 国際関連事業
特になし
2. シンポジウム・講演会などの行事
 - ・第12回分離プロセス講演及び見学会 (蒸留分科会担当予定)
 - 化学工学会分離プロセス部会では、年に一回のペースで、分離プロセスの実際の現場を見学し、講演を聴くことで、分離プロセスの理解を深める企画をしている。
3. 本部大会・支部行事関連行事
 - ・化学工学会第47回秋季大会 シンポジウム
4. 講習会などの啓発活動
特になし
5. 出版物・特集号などの化学工学会出版への寄与
特になし
6. 受託事業の推進
特になし
7. 部会ニュース・メールマガジンなどの発行
 - ・部会HPを随時更新し、部会会員への情報提供を強化する。
 - ・ニューズレターを年に1回のペースで発行する。
8. その他
特になし

M. 熱工学部会

1. 国際関連事業
予定なし
2. シンポジウム・講演会などの行事
 - ・熱工学部会セミナー(1回/年)
 - 内容 : 熱工学に関連する重要かつ興味あるテーマを設定し、4名程度の講師に講演を依頼するとともに、参加者間でテーマに関する議論並びに情報交換を行う。
 - 開催日 : 未定
 - 会場 : 未定
 - ・2015年度第1回熱工学部会研究会
 - 内容 : 部会の活動内容の現状あるいは将来に関する議論を部会員間で行う。
 - 開催日 : 化学工学会第47回秋季大会(平成27年9月9日~11日)期間中
 - 会場 : 北海道大学
 - ・2015年度第2回熱工学部会研究会
 - 内容 : 部会の活動内容の現状あるいは将来に関する議論を部会員間で行う。
 - 開催日 : 熱工学部会セミナーと同じ
 - 会場 : 熱工学部会セミナーと同じ
 - ・2015年度総会
 - 内容 : 部会の行事・決算報告、次年度の行事予定・予算の審議等を行う。
 - 開催日 : 化学工学会第80年会(平成27年3月19日~21日)期間中
 - 会場 : 芝浦工大
3. 本部大会・支部行事関連行事
 - ・化学工学会第47回秋季大会における「熱工学部会セッション」
 - 概要 : 熱を取り扱う技術や課題について、分野横断的に情報交換を行いながら、持続可能な社会の実現に向けて、熱工学が果たすべき役割について考える。熱と関わる基礎・応用研究にとどまらず、装置開発および改善に関する実例の報告、問題提起などを広く募集する。
 - 開催日 : 化学工学会第47回秋季大会(平成27年9月9日~11日)期間中
 - 会場 : 北海道大学
4. 講習会などの啓発活動
予定なし
5. 出版物・特集号などの化学工学会出版への寄与
 - ・化学工学会誌における部会発の小特集企画
 - 内容 : 熱工学に関連する重要かつ興味あるテーマを設定し、熱工学部会で小特集を企画する。
 - 発行日 : 未定

- ・ Journal of Chemical Engineering, Japan における review 論文の企画
内容 : 熱工学に関連する review 論文を企画する.
発行日 : 未定
- 6. 受託事業の推進
予定なし
- 7. 部会ニュース・メールマガジンなどの発行
 - ・ 部会ホームページにおける情報発信を強化するために, ホームページの内容を充実させる.
- 8. その他
 - ・ 優秀発表賞
化学工学会第 47 回秋季大会における「熱工学部会セッション」での発表者を対象とする.

N. 化学装置材料部会

1. 国際関連事業
 - ・ MTI(Materials Technology Institute)と具体的な共同事業についての会合
 - ・ MTI 発行や化学装置材料部会発行書籍の英訳/和訳本の作成
2. シンポジウム・講演会などの行事
3. 本部大会・支部行事関連行事
 - 【主催事業】
 - ・ 第 80 年会化学産業技術フォーラム「化学装置の保守と検査—装置材料技術の化学工学への貢献—」
 - ・ 第 47 回秋季大会 シンポジウム開催を計画
 - 【協賛事業】
 - ・ 第 16 回プラント保全研究会
(3/11 開催, 主催:化学工学会中国四国支部, 中国地区化学工学懇話会)
4. 講習会などの啓発活動
 - 【主催事業】
 - ・ 部会講演会(7 回/年)
内容:各分科会の会合時および総会時に開催. 主に部会員を対象に公開.
5. 出版物・特集号などの化学工学会出版への寄与
 - ・ 「化学工学」誌
 - ・ 化学工学年鑑執筆
 - ・ 「設備老朽化」をテーマに特集号を計画
 - ・ ボイラー水の防食管理に関する資料集を発行予定(腐食分科会)
6. 受託事業の推進
7. 部会ニュース・メールマガジンなどの発行
 - ・ 部会メールマガジンを適宜発行
8. その他
 - ・ 化学装置材料部会 2015 年度総会(2 回/年)
 - ・ 化学装置材料部会 2015 年度役員会(2 回/年)

平成27年度
収支予算書

(内閣府提出資料)

平成27年 3月 1日から
平成28年 2月 29日まで

公益社団法人 化学工学会

平成27年度予算 正味財産増減計算書(1)

(平成27年3月1日から平成28年2月29日まで)

(単位:円)

科 目	H27年度予算	H26年度予算	増減	備考
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1)経常収益				
①特定資産運用益	133,000	185,000	△52,000	
特定資産受取利息	133,000	185,000	△52,000	
②受取会費	111,236,000	110,857,000	379,000	会費月割り請求の廃止により増
正会員受取会費	48,291,000	49,719,000	△1,428,000	
学生会員受取会費	8,705,000	6,692,000	2,013,000	
教育会員受取会費	0	26,000	△26,000	
維持会員受取会費	26,400,000	25,920,000	480,000	
特別会員受取会費	27,840,000	28,500,000	△660,000	
③事業収益	252,721,000	230,065,000	22,656,000	
公1. 学術育成事業	119,273,000	117,415,000	1,858,000	本部大会運営方法変更により増
学術集会、研究発表事業収益	52,556,000	47,410,000	5,146,000	
国際交流、国際会議事業収益	100,000	2,500,000	△2,400,000	国際シンポジウム減
人材育成講習会事業収益	63,738,000	64,822,000	△1,084,000	支部講習会減
資格付与事業収益	2,879,000	2,683,000	196,000	
公2. 調査研究事業	16,346,000	35,520,000	△19,174,000	受託事業減
調査研究、情報提供事業収益	13,361,000	32,605,000	△19,244,000	
技術相談事業収益	2,985,000	2,915,000	70,000	
公3. 表彰普及事業	28,992,000	29,528,000	△536,000	
審査・表彰事業収益	28,992,000	29,528,000	△536,000	
取1. 展示出展事業	43,000,000	3,500,000	39,500,000	H27年度インケム開催
INCHEM TOKYO 開催	43,000,000	3,500,000	39,500,000	
他1. 相互扶助事業	45,110,000	44,102,000	1,008,000	
会員サービス、講演会	45,110,000	44,102,000	1,008,000	
④受取補助金等	0	3,000,000	△3,000,000	科研費減
科研費収益	0	3,000,000	△3,000,000	
⑤受取寄付金	1,000,000	1,430,000	△430,000	
受取寄付金振替額	1,000,000	1,430,000	△430,000	
⑥雑収益	4,173,000	4,097,000	76,000	
受取利息	18,000	24,000	△6,000	
雑収益	4,155,000	4,073,000	82,000	
事務受託収益	3,780,000	3,500,000	280,000	
その他雑収益	375,000	573,000	△198,000	
経常収益計	369,263,000	349,634,000	19,629,000	
(2)経常費用				
①事業費	336,308,000	347,932,000	△11,624,000	
給料手当	91,821,000	87,479,000	4,342,000	定期昇給他により増
臨時雇賃金	6,296,000	5,748,000	548,000	
退職給付費用	1,865,000	520,000	1,345,000	勤続年数アップにより増
IT化	1,935,000	1,891,000	44,000	
室議	8,799,000	8,784,000	15,000	
会費	7,071,000	6,573,000	498,000	
運営	76,847,000	104,073,000	△27,226,000	国際シンポジウム、受託事業減により経費減
旅費交通	4,936,000	5,491,000	△555,000	
施設利用	13,314,000	16,286,000	△2,972,000	本部大会運営方法変更により減
通信運搬	12,002,000	11,630,000	372,000	
消耗什器備品	223,000	162,000	61,000	
消耗品	2,795,000	2,771,000	24,000	
印刷製本	30,134,000	31,819,000	△1,685,000	本部大会運営方法変更により減

平成27年度予算 正味財産増減計算書(2)

(平成27年3月1日から平成28年2月29日まで)

(単位:円)

科 目	H27年度予算	H26年度予算	増減	備考
光熱水道料	735,000	727,000	8,000	
諸謝金	27,128,000	33,004,000	△5,876,000	受託事業経費減他
租税公課	5,000,000	3,500,000	1,500,000	インカム関係により増
複写費	760,000	950,000	△190,000	
支払負担金	1,103,000	1,042,000	61,000	
支払助成金	400,000	400,000	0	
渉外費	70,000	35,000	35,000	
図書費	1,123,000	682,000	441,000	
貸借保守料	4,425,000	1,422,000	3,003,000	新ホームページ他による増
委託費	32,017,000	19,258,000	12,759,000	本部大会運営方法変更により増
雑費	5,509,000	3,685,000	1,824,000	
②管理費	44,267,000	44,933,000	△666,000	
給料手当	18,461,000	19,438,000	△977,000	
退職給付費用	152,000	130,000	22,000	
福利厚生費	184,000	184,000	0	
会計士等報酬	1,226,000	1,226,000	0	
IT化費	425,000	1,722,000	△1,297,000	
入室料	5,001,000	5,016,000	△15,000	
会議費	2,064,000	1,585,000	479,000	
運賃	2,830,000	2,930,000	△100,000	
旅費	2,225,000	2,235,000	△10,000	
施設利用費	200,000	250,000	△50,000	
通信運搬費	1,415,000	1,466,000	△51,000	
減価償却費	869,000	91,000	778,000	
消耗什器備品費	37,000	38,000	△1,000	
消耗品費	956,000	984,000	△28,000	
印刷製本費	50,000	50,000	0	
光熱水道料	165,000	173,000	△8,000	
複写費	265,000	322,000	△57,000	
支払負担金	1,440,000	1,431,000	9,000	
渉外費	600,000	1,220,000	△620,000	
新公益法人制度対応費	0	0	0	
図書費	37,000	38,000	△1,000	
貸借保守料	4,259,000	2,855,000	1,404,000	新会員管理システム他により増
雑費	1,406,000	1,549,000	△143,000	
経常費用計	380,575,000	392,865,000	△12,290,000	
評価損等調整前当期経常増減額	△11,312,000	△43,231,000	31,919,000	
当期経常増減額	△11,312,000	△43,231,000	31,919,000	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益	0	0	0	
(2) 経常外費用	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
他会計振替額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	△11,312,000	△43,231,000	31,919,000	
一般正味財産期首残高	359,772,000	403,317,000	△43,545,000	
一般正味財産期末残高	348,460,000	360,086,000	△11,626,000	
II 指定正味財産増減の部				
一般正味財産への振替額	1,000,000	1,430,000	△430,000	
当期指定正味財産増減額	△1,000,000	△1,430,000	430,000	
指定正味財産期首残高	121,077,000	122,468,000	△1,391,000	
指定正味財産期末残高	120,077,000	121,038,000	△961,000	
III 正味財産期末残高	468,537,000	481,124,000	△12,587,000	

平成27年予算 正味財産増減計算書内訳表
平成27年3月1日から平成28年2月29日まで

公益社団法人 化学工学会

(単位:円)

科目	公益目的事業会計			取組事業等会計			法人会計	内部取引 控除	合計	
	公1 学術育成事業	公2 調査研究事業	公3 表彰賞及事業	小計	共通	取組1 展示出張事業				取組2 相互扶助事業
I 一般正味財産増減の部										
1. 経常増減の部										
(1) 経常収益										
① 特定資産運用益	0	0	0	104,000	0	0	0	0	4,000	25,000
特定資産受取利息	0	0	0	104,000	0	0	0	0	4,000	25,000
② 受取会費				55,618,000	0	0	0	0	0	55,618,000
正会員受取会費				24,145,000	0	0	0	0	0	24,145,000
学生会員受取会費				4,353,000	0	0	0	0	0	4,352,000
総務会員受取会費				13,200,000	0	0	0	0	0	13,200,000
特別会員受取会費				13,920,000	0	0	0	0	0	13,920,000
③ 事業収益	119,273,000	16,346,000	28,992,000	164,611,000	43,000,000	45,110,000	0	0	88,110,000	27,840,000
学術集会、研究発表事業収益	52,556,000			52,556,000	0	0	0	0	0	52,556,000
国際交流、国際会議事業収益	100,000			100,000	0	0	0	0	0	100,000
人材育成講習会事業収益	63,738,000			63,738,000	0	0	0	0	0	63,738,000
賞格付与事業収益	2,879,000			2,879,000	0	0	0	0	0	2,879,000
調査研究、情報提供事業収益	13,361,000			13,361,000	0	0	0	0	0	13,361,000
技術相談事業収益	2,985,000			2,985,000	0	0	0	0	0	2,985,000
審査・表彰事業収益			28,992,000	28,992,000	0	0	0	0	0	28,992,000
展示出張事業収益				0	43,000,000	0	0	0	0	43,000,000
相互扶助事業収益				0	0	45,110,000	0	0	0	45,110,000
④ 受取寄付金	0	0	1,000,000	1,000,000	0	0	0	0	0	1,000,000
受取寄付金償還額	0	0	1,000,000	1,000,000	0	0	0	0	0	1,000,000
⑤ 雑収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取利息	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
雑収益(事務委託収入)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
雑収益(その他収入)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常収益計	119,273,000	16,346,000	29,992,000	221,333,000	55,722,000	45,110,000	4,000	0	88,114,000	369,263,000
(2) 経常費用										
① 事業費	163,449,000	64,543,000	39,031,000	267,023,000	0	10,425,000	58,860,000	0	69,285,000	336,308,000
給料手当	46,877,000	14,191,000	16,535,000	77,603,000	0	7,413,000	6,805,000	0	14,218,000	91,821,000
臨時雇賃金	5,475,000	0	0	5,475,000	0	0	821,000	0	821,000	6,296,000
退職給付費用	291,000	678,000	884,000	1,853,000	0	12,000	12,000	0	12,000	1,885,000
IT化費	0	250,000	1,550,000	1,800,000	0	135,000	135,000	0	135,000	1,935,000
室料	4,220,000	1,713,000	1,722,000	7,655,000	0	1,144,000	0	0	1,144,000	8,799,000
会議費	2,761,000	1,320,000	0	4,081,000	0	0	2,990,000	0	2,990,000	7,071,000
旅費交通費	33,940,000	7,843,000	3,870,000	45,653,000	0	31,194,000	0	0	31,194,000	76,847,000
施設利用料	1,563,000	620,000	130,000	2,413,000	0	0	2,523,000	0	2,523,000	4,936,000
運賃交通費	12,544,000	460,000	180,000	13,184,000	0	130,000	130,000	0	130,000	13,314,000
消耗什器備品	2,846,000	7,364,000	412,000	10,622,000	0	73,000	1,307,000	0	1,380,000	12,002,000
消耗品費	111,000	56,000	29,000	196,000	0	18,000	9,000	0	27,000	223,000
印刷製本費	1,128,000	90,000	186,000	1,404,000	0	36,000	1,355,000	0	1,391,000	2,795,000
光熱水道料費	368,000	118,000	127,000	613,000	0	82,000	40,000	0	122,000	735,000
租税公課	22,337,000	3,141,000	230,000	25,708,000	0	1,420,000	357,000	0	1,543,000	27,128,000
雑費	2,202,000	474,000	781,000	3,457,000	0	1,186,000	357,000	0	1,543,000	5,000,000
租税公課	391,000	119,000	128,000	638,000	0	82,000	40,000	0	122,000	760,000

事業 年度	自 平成27年 3月 1日 迄 平成28年 2月29日	法人コード 法人名	A003867 公益社団法人 化学工学会
----------	--------------------------------	--------------	----------------------------

平成27年度予算

資金調達及び設備投資の見込みについて

(1) 資金調達の見込みについて

当期における借入れの予定の有無を記載し、借入れ予定がある場合は、その借入先等を記載してください。

借入れの予定	<input type="checkbox"/>	あり	<input checked="" type="checkbox"/>	なし
事業番号	借入先	金額	使 途	

(2) 設備投資の見込みについて

当期中における重要な設備投資(除却又は売却を含む。)の有無を記載し、設備投資の予定がある場合には、その内容等を記載してください。

設備投資の予定	<input checked="" type="checkbox"/>	あり	<input type="checkbox"/>	なし
事業番号	設備投資の内容	支出又は収入の 予定額	資金調達方法 又は取得資金の使途	
公2、 法人会計	ホームページ・ 会員管理システム	8,209,000円	特定資産の取崩	